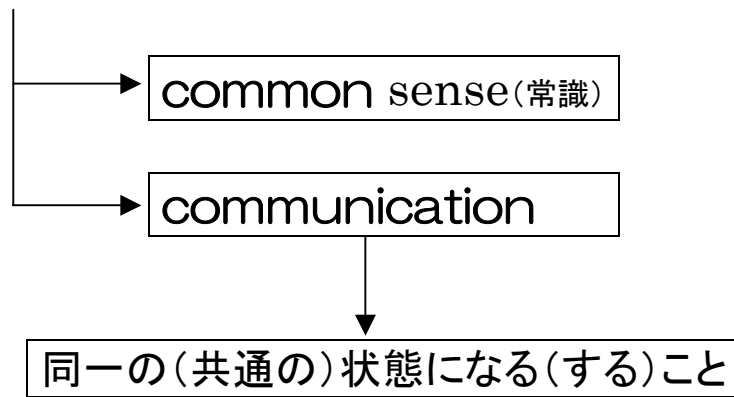


「問題行動の根源」を考える前に…

留意点…communis(同一の、共通の)的問題

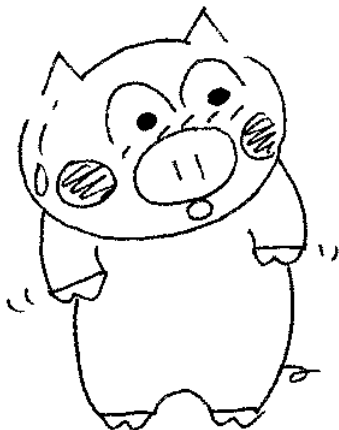


communis の仲間たち

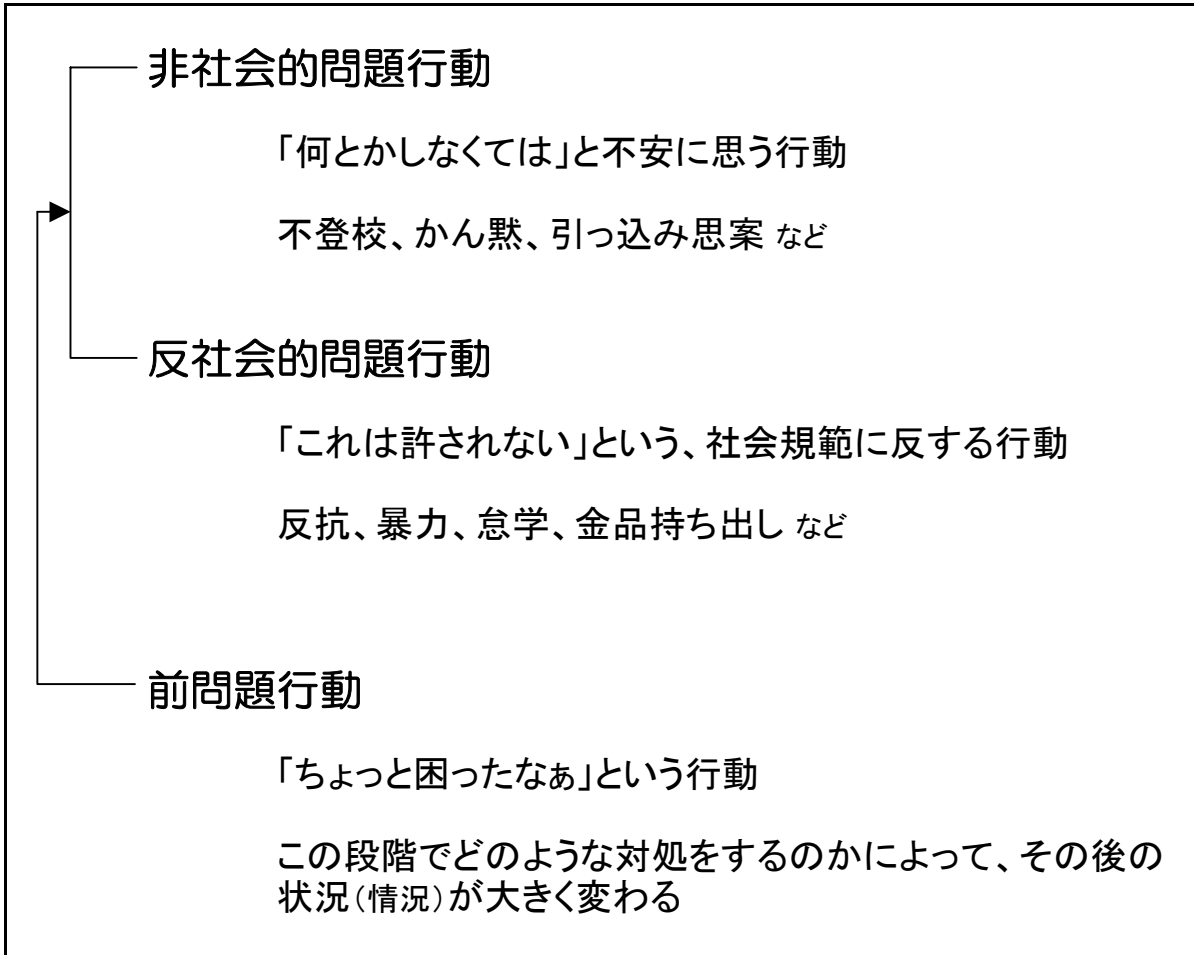
- ① community(地域社会、共通性・同一性)
- ② communism(共産主義)
- ③ communion(親交、宗教団体)
- ④ communique(公式声明、共同声明)

着目点① なぜ「問題」が起きるのか？

② 何をもって「問題」と判断する(される)のか？



問題行動の分類



社会意識……社会の構成員によって共有されている意識



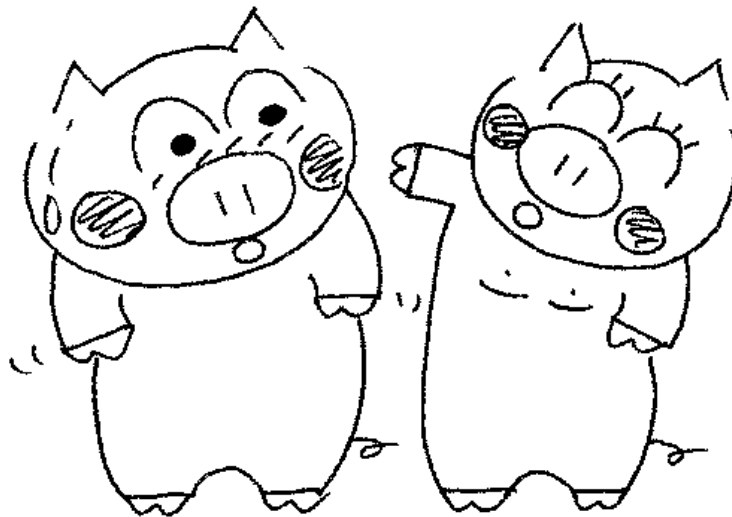
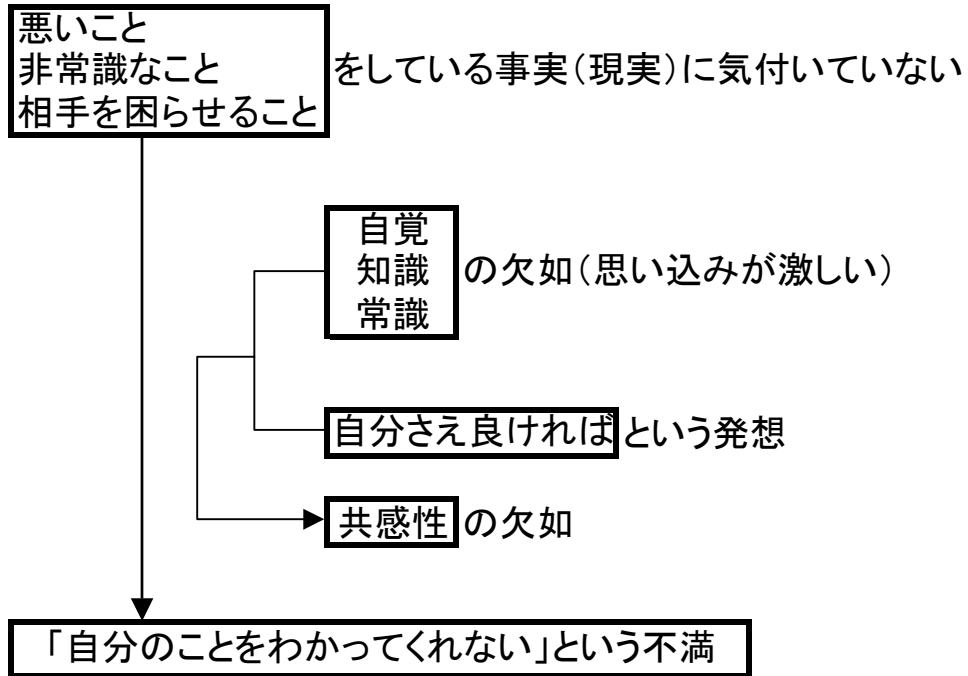
常識 (common sense) と同じニュアンスで語られることが多い

common 共通の、共有の、共同の
大多数に支持されるような
多数決で勝てるような

sense 意味、感覚

構造 多数決で勝つ(勝てる)ような意見が、
社会意識(常識)を作る

問題行動の根源



罪とは何か？

罪のパターン その1(社会制度との関連)

- 1 刑事上の罪 (crime)
- 2 道徳上の罪 (sin)
- 3 宗教的な罪

罪のパターン その2(行為体系との関連)

- 1 規範に対する侵害
- 2 人間への加害

罪の意識の生じる時

- 1 自己の行為・意図が道徳規範を犯していると自覚している時
- 2 自覚と同時に、自己を責める(非難する)感情が生じた時
- 3 超自我(良心)が自我を攻撃する時

●ある行動は、それが集合意識の強力な確定的な諸状態を冒瀆する時、犯罪的である。

●我々は、ある行為が犯罪であるからそれを非難するのではなく、それは、我々がそれを非難するから犯罪なのである。

(E. Durkheim)

